

平成 26 年度 第 2 回 多治見市子育て支援会議

○日時：平成 26 年 7 月 25 日（金）午後 2 時～

○場所：多治見市産業文化センター3 階中会議室

○出席者

（委 員）今村光章会長、宮村登美子副会長、伊藤威一郎委員、齋藤由美委員、土岐正典委員、稲垣信子委員、齋藤由美委員、坂崎誠子委員、堀裕一委員、高木貴代子委員、山本博子委員、白石真美委員、櫻井香好委員、三田寺正恵委員

（欠 席）臼井友則委員、齊藤英久委員、春田美和委員、加藤悦男委員、堀尾憲慈委員、

（事 務 局）福祉部長石丸、福祉部次長瀬瀬、子ども支援課長長江、保育園幼稚園グループリーダー杉村、子育て支援グループ井出、小久保

○議事

- （1）条例制定等案件について
- （2）量の見込みに基づく確保方策について
 - ①地域子ども・子育て支援事業について
 - ②教育・保育について
- （3）多治見市子育て支援事業計画について

1. あいさつ

・部長挨拶

【事務局】

○各委員出欠状況について報告[事務局説明]

【今村会長】

今日は二つのことについて長い時間を取ってお話ししていただきたいと思います。前回から議論になっているところで、放課後児童健全育成事業のことについて 40 分ぐらいは取れると思いますので、いろいろとお話をいただきたいと思います。

二つ目の論点は未満児保育ということで、こちらも重要な課題になります。そちらについても 30 分程度は時間が取れると思いますので、いろいろなご意見をおっしゃっていただければと思います。議事につきまして、事務局のほうからの説明を受けて、質疑応答をするといったような形で行いたいと思います。

まずは議事（1）『条例制定と案件について』事務局より説明をお願いします。

2. 議事

（1）条例制定等案件について[事務局説明]

【今村会長】

ありがとうございました。何かご質問やご意見等この段階でありますでしょうか。
(質疑なし)

では次の議題に移りたいと思います。議事(2)『量の見込みに基づく確保方策について』です。主として学童と、未満児の受け入れのことになるかと思えます。事務局からの説明を受けて皆さまのご意見をいただきたいと思えますので、よろしくお願ひ致します。

(2) 量の見込みに基づく確保方策について

①地域子ども・子育て支援事業について[事務局説明]

【今村会長】

ありがとうございました。三つの論点があると思えます。一つは定員の見直しや、新設といった量の問題です。もう一つは何をしているのかという質の問題。それからシステムでどのような制度、費用、申し込み時期にするかの問題があると思えます。ご意見お願いします。

【委員】

質、量ともにいろいろ問題がありますし、金銭面等の問題もあると思えますが、一番の問題は、待機児童が多いことです。知人のお母さんでも、申し込んだけど1年2年入れてもらえないと聞いています。頼れるおじいちゃんおばあちゃんも居なくて、困っているお母さんは多く居ますので、内容よりも待機を無くすことが最優先じゃないかなと私は思えます。その辺を詳しく聞きたいです。特に北栄等は子どもが増えていきますし、質に関してはその後ではないかと感じています。

【事務局】

待機児童については、夏休みだけでも何とかしてほしいという声もありましたので、教育委員会、学校のほうにもお願ひして、新しい教室や体育館を活用して定員を増やしています。今年5校で待機児童が出ているということで、待機になっている方のみを対象としております。通年利用の方の2、3割は、本来は夏休みだけいいという方も見えますので、そちらに移動することで少し通年の余裕ができると思っています。先ほどから説明しています放課後子ども教室というのは、早ければ来年から実験的に1校程度実施を検討しておりますが、これは学校との連携が必要ですので、現時点でできるとは言い切れないのが現状です。

【委員】

子どもは減ってきていますが、なぜか学童に預けたいという親は毎年増えてきています。

【事務局】

高学年の小学校6年生までが対象ですが、小学校3年までの低学年が優先だと考えております。しかし、定員もありますので、対象全員を受け入れるものではありません。

ん。最近では連れ去り等な事件もあり、心配なことから学童にお願いしたい方が増えると思います。そういった部分に適用できるような方策も、皆さんからご指導いただきながら、事業計画に落としていければと思います。

【今村会長】

待機児童の解消については対応されていると思います。ほかに何かありませんか。

【委員】

待機児童の通年の希望の方たちは、夏休みで 2 割程度解消されるという話がありましたが、子どもが帰ってくる 2 時 3 時までパートに出ている小学生のお母さんは多いと思います。その方たちは、夏休みの間はすごく困っていると聞いています。夏休み等の長期休暇だけ預かってくれるクラブ等は、見えないところでもっと潜在的な人数は高いのではと感じています。試験的でもいいので、どこかの学校でそういう長期の夏休みだけやってみると意外と掘り起こせるような気がします。

【事務局】

一番問題なのが場所の問題でして、今年も 5 校のうちの 3 校は対応していただいたのですが、その他は教室がないため一時的に体育館を活用させていただいています。

【委員】

場所の問題もですが、運営母体として NPO であったり、地元で頑張っておられるご年配の方たちの力を活用してはどうかと思います。

【事務局】

地域のご年配の方たちは、絵を教えたり、体験教室をやっていただいているのを実際見て来ているので、そういったボランティア的なところでやっていただけるといいと思います。

【委員】

待機児童について、通年と長期休暇の一体型を目指していくということでしょうか？

【事務局】

目指していきたいのですが、まずは夏休みと通年の二本立てができないかなと思っています。それに加えて名古屋方式を取り入れたいと思っており、いい面もあればマイナス面もあると思いますので、それは検討しながら進めていきたいと考えています。ただ、待機児童を実質的に無くすことが第一で、これは国も同じ考えです。目指す方向性は間違っていないと考えています。

【委員】

5 時ぐらいまでは安い値段、もしくは無料で預かりができて、6 時 7 時までは学童扱いにすると、待機児童の計算は減りますか。

【事務局】

減ると思います。イメージ的には名古屋なので、全く同じになるかどうかは分かり

ませんが、名古屋の場合は5時までは放課後子ども教室、5時からは学童というパターンです。

【委員】

いろんな問題点が解決に向かう見通しは立ってきたのかなと思います。しかし、具体的にやる方向になると、夏休みの児童クラブに入りたいがために4月から入社し、夏休みが終わったら退社するっていう方もみえます。

どんな人でも同じようにこちらから選んでサービスが受けられるっていう制度になるのが本当にあるべき姿なのかなと思います。同じように税金を納めているのに就労の差で、入れる人が居たり入れない人が居たりするのはおかしいと思います。

あとは、スケジュールを詰めていけばうまくいくのかなと思います。

【事務局】

スケジュールについて、担当との話し合いもありますので、夏休みというより10月には実現したいと思います。

放課後子ども教室について、名古屋のトワイライトを見に行っただのですが、コーディネーターの元校長先生が学校のいろんなことをよく知っており、学校側と連絡をスムーズしておられたため、放課後教室は経験者の方にコーディネーターになってもらうとよりうまくいくと感じました。地域の人たちの協力も検討しながら進めていけたらと思っています。

【今村会長】

いわゆる学童のことに関しては、行政の方々にお問い合わせするという立場ではなくて、われわれのような関係者が協力できる連絡協議会ができないかなと思っております。例えば私立幼稚園で卒園児を預かったり、あるいはNPOで新たな団体が出て来てもいいですし、諸団体いろいろ手を携えてやっていけないかなというふうに思っています。一体型を目指す場合にも、行政だけに全部丸投げっていうことではなくて、皆さんがご意見を言って多治見市はこういうのが適切だから名古屋とは違うこんなものを作るっていうふうな考え方があってもいいんじゃないかなって思っています。保育者の関係者の方、幼稚園の関係者の方、NPOの関係者の方、いらっしゃいますが、その量について、取りあえず待機児童を無くすということについてどんなご意見があるとか提案があるとか、質の向上についてあるいはシステムについても何かご意見はないですか？

【委員】

今言われたように、行政に丸投げというのはちょっとおかしいと思います。親の意識改革というか、親は仕事してるのだから預かってもらえるのは当たり前となってしまうと、ちょっとおかしいと思います。やはり自分たちで運営していくぐらいの親の気持ちがないといけません。自分は預けるけど、他の子のためになんかするのは嫌といった傾向があると思います。多治見市の子ども会への参加が、50パーセントを切っ

てるんです。親は、小さいうちは預けといて、自分が役員をやらなきゃいけないっていう年齢に来ると子どもを脱会させてしまっています。こうした親の意識改革も必要だと思います。

【今村会長】

それも一つ課題ですね。親準備教育とか保育に関する教育とか、家族教育っていうふうにはいいですけど、そこまで手が回るかどうか。赤ちゃんとのふれあい体験とか、そういったようなものがあるんですけど、ちょっとそこまでなかなか難しいかなと思いますが、確かに親になる世代の人たち、親そのものにも教育が必要だということですね。

【事務局】

その点は制度も同様の考え方で第一保育者は親であるというふうに思います。

【今村会長】

他にいろいろシステムの問題もありますし、いろんなご要望やご意見やご感想でもなんでもおっしゃって下さい。

【委員】

もう一つ。安全対策について1人参加せずに帰ってしまい、職員の人も把握してなかったっていう事例が他の自治体でありました。今事件が多いですし、どのように考えてみえるのかっていうことをお聞きしたいです。

【事務局】

名古屋トワイライトは登録の必要があり、来てない場合には連絡をするというやり方をやっています。そういったいい点は多治見市でもやっていきたいと思います。

【委員】

先ほど保育園や幼稚園に卒園児だけでも預けてはどうかというお話がありましたけど、私の実家のほうだと、例えば保育園での預かり、学童保育があり、老人ホームでの学童保育があり、他には障害時児保育、養護老人保育があり、それからある一定以上の規模の企業の中には必ず保育ルームがあるのですが、空き教室以外に考えた場合に、他にどういうものがありますか。

【事務局】

基本的には各学校の余裕教室の活用を考え、余裕教室が難しい場合は特別教室や図書館、体育館などの学校施設を活用することが想定されます。また、新しい条例では民間がやることも想定されているため、その基準を守ってやっていただければということになると思います。

【今村会長】

現実的にできるかどうかは別問題だと思いますが、NPO だったらできると思います。通年でずっと預かるとなればいろんな問題があるかもしれませんが。行政に丸投げせずに皆さんで考えましょうということですね。

【事務局】

認可外で学童を預かるやり方もありますので、そういうものも活用しながらということになるかと思います。

【今村会長】

現実的には、保育所幼稚園は現状でいる子どもで手いっぱいなので、急に実施することは、難しいとは思いますが。

次に、事務局のほうから教育・保育について、主として未満児の受け入れについてですが、ご説明をお願いできますでしょうか。

②教育・保育について[事務局説明]

【今村会長】

まずは未満児対応について議論をしましょう。前回からずっと懸案になっていることで、未満児の不足数が77名ということですが、これについていかがでしょうか。

【委員】

不足数77人出てますが、これは予測ですので、実際の所はわからないものだと思います。しかし、これが現実ですとやはり何か受け皿が必要になってくるかなということもあります。小規模保育を何とか活用して、待機を無くせればなというところですが。

【事務局】

通年4月の時点では待機はずっと0人でしたが、現在は3人になっています。

【委員】

急に来年77人に増えるとはちょっと想像しにくい部分もありますね。

【事務局】

一応試算したデータの上ではということです。

【今村会長】

0歳児の不足数38人、1、2歳児で39人と同じぐらいということですが、例えば1、2歳児については対応してほしいけども、0歳児はそこまで増やさなくてもいいのではないかという意見もあったかと思います。いろいろなご意見あると思いますがどうですか。

【委員】

私も前は保育園にいましたので、保育園の0歳児保育も経験しています。その中で待機ということについて、すごく保護者の方が神経質になっていて、出産イコール即保育所選ぴというような方もいて、おなかに居る状態で見学に来る方も大勢いました。本当は育休を3年間取りたいけれども、ここで育休を取って入所できないとなると今度は自分が働き続けられないという不安も保護者の方にあって、産休明けで何が何でも0歳児に入れたいという方が多くいます。4月に待機は出てないとおっしゃっていましたが、途中では入れず4月には入れるということで、早く育休復帰する苦渋の決断

をされる保護者の方もいる現実があります。あと、認可外保育施設を家庭的保育施設にということもありましたけど、やはり基準をきちんとクリアできるような保育施設であってほしいですし、できれば正規の保育士を置いていただきながら、質の担保をしていただけるほうが、やはり保護者の方が安心して子どもを預けられることにつながるのかなというふうに感じます。

【委員】

周りのお母さんの話を聞くと、1歳までは産休が取れるとよく聞くので、1歳から確実に入れるのであれば、0歳は確保しなくても大丈夫なのではと思います。しかし、4月の時点で1歳になっていないと入れないから仕方なく前倒しで入れるという話を聞くので、どうなのかなっていうのは感じますけど。

あとは、入れる親からすると、家庭的保育施設や認可外の施設と聞くと、ちゃんとした保育士さんがやっているのかなっていうのが一番気になると思います。そこをちゃんとしてもらえば、家庭的保育施設もありかと思います。

【事務局】

今は認可外ですが、きちんとした基準をクリアした施設を検討していきます。

【委員】

保育士の免許を持って無くても、その試験を通れば働けるというのをどっかで見たんですけど、そんなのって大丈夫なんでしょうか。

【事務局】

おっしゃるとおり、一定規模の小規模保育では保育士さんが必要ですが、それ以外の家庭的保育では、保育士でなくても行政主体で研修を受けていただくということで良いことになっています。そこはしっかりとした試験を受けて心配のないようにしたいと思っております。

【今村会長】

質の保障をしっかりと行政のほうでチェックしてください。

【委員】

「1歳になったらきちんと入れるのであれば、0歳までの12カ月間はきちんと育てるわ」というお母さんの意識があるのであれば、それが一番いいと思うので、企業サイドの所に話を持っていけないのかなと思います。大企業であれば、もちろん育休とか制度がしっかりしていると思いますが。

多治見市内の企業に働きかけることは可能でしょうか。

【事務局】

できるかどうかは分かりませんが、できればいいなとは思いますが。委員のおっしゃるとおりだと思います。

【今村会長】

そういうことも含めた先ほどの親の教育ということもありますし、ここだけの子育ち

会議だけの問題ではなくて、企業の勤め方、仕事の仕方の問題も入ると思います。

【委員】

小規模保育の実施が挙げられているのは、一番実現の可能性が高いからと説明をいただきましたが、一方で公立の幼稚園の先生や保育園の先生が本当に大変な状況だということも聞いています。どうしても待機児童が出ているから、そこを何とかしなきゃいけないというところが第一にくるのでしょうか、子どもは全て元気に幸せに生きていく権利を持った存在として生まれてきているので、やっぱり一人一人の育ちを保証していくって一番基本的な視点になって、公立との連携ってということも、どうということが現実的にできて、どういことをしていくことがその小規模施設をきちんと支えていくことになるのかってことを考えていただきたいです。

【事務局】

公立だけでなく私立とも連携していただいて、私立でも小規模の保育所に預けても同じような状態になるように、基準を持ってやっていきたいと思います。

【今村会長】

残りの議題について、延長保育対応、保育認定基準、利用者負担についてということで、もう少し皆さんにお知らせしてご意見ご質問を伺い点がありますので、続けてお願いします。

③延長保育対応、保育認定基準、利用者負担について[事務局説明]

【今村会長】

三つともご質問があればどうぞ。

【委員】

私立幼稚園の就園奨励費補助制度について、国の方針で本年度から所得制限が無くなって幅も広がったと思いますが、その国が提示した額に対して、多治見市では半額までだったと思います。可児市は満額出てるんですが、予算の問題なんですか。

【事務局】

国の基準と同じにしたいと思っっていますが、予算的な問題もあります。

【今村会長】

地方公共団体によって、それぞれ就園奨励費、保育料が違うということがそもそもおかしいという議論はずっとあります。地方自治体によって体力が違うので何ともいえませんが。

【委員】

可児市から多治見の私立の幼稚園に通っている子も居るので、そういう子は全額出るわけですね。そうすると住んでいる場所で差が生じてしまうため、予算を組むときにいろんなことを考えて検討していただきたいなと個人的に思っております。

【今村会長】

そういうご意見を各委員がいろんな所で伝えていただき、難しい面もいろいろあると思われませんが予算化されるといいですね。

【事務局】

就園奨励費補助制度については、国基準だと1億8000万円必要だという試算になり、現在の財政状況においてすぐに対応することはできないという状況です。予算としてはこれまでよりも国基準に近づけ、全額までとはいきませんが半額程度となります。来年以降も検討を行い、担当課としては可能な限り国基準に合わせて検討をしたいという思いで取り組んでおりますのでよろしくお願いします。

【今村会長】

時間の都合から、多治見市子育て支援事業計画については次回にさせていただきます。

【事務局】

資料2-2の地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保内容及び資料3の計画冊子イメージにつきましては、次回にご意見を伺いますのでご確認をお願いします。

3. その他

次回の日程 平成26年9月11日（木） 10時から[事務局説明]

【今村会長】

それでは以上をもちまして多治見市子育て支援会議を閉会致したいと思います。ご協力ありがとうございました。